

令和5年度 健やか親子特別委員会 事業報告

1. 活動テーマ

「地域における母子保健活動の質の向上を目指す」

2. 目的

保健師の母子保健活動について可視化して発信する

3. 実施状況

回	時 期	場 所	内 容
1	6月3日	Web会議 (Zoom)	【第1回委員会】 令和5年度活動計画 令和5年度予算執行計画
2	6月	メール協議	・参考文献集め ・ヒアリング先調整
3	7月29日	Web会議 (Zoom)	【第2回委員会】 資料構成、役割分担検討
4	8～9月	メール協議	研究計画書案作成
5	11月21日	Web会議 (Zoom)	【第3回委員会】 研究計画書・ヒアリング案検討 参考文献まとめ
6	11～1月	メール協議	倫理審査eラーニング受講
7	12月10日	Web会議 (Zoom)	【第4回委員会】 研究計画書・インタビューガイド検討
8	2月28日	Web会議 (Zoom)	【第5回委員会】 研究計画書・ヒアリングシート確定
9	3月20日	Web会議 (Zoom)	【第6回委員会】 年間まとめと次年度計画

4. 結果・課題

改正児童福祉法に伴うこども家庭センターの設置において、母子保健と児童福祉が一体的に支援を行うためには、予防的視点やポピュレーションアプローチなどの母子保健の意義や強みについて、他の部署のみならず保健師自身も再確認することが重要です。健やか親子特別委員会では、「保健師の母子保健活動の可視化と発信」のため、新任期保健師向けに、母子保健活動の強みが伝わる研修資料を作成します。令和5年度は、新任期、中堅期、管理期の保健師に関する個別支援の先行文献を熟読し、意見交換をいたしました。さらに、研究計画書・インタビューガイドを作成し、実施のために倫理審査申請書類の作成と合わせて研究倫理研修を受講し、ヒアリング先の調整を行いました。令和6年度は、中堅期から管理期の保健師を対象に、母子保健のマインド、好事例の取組、現任教育の課題などをヒアリングし、母子保健が果たす役割や意義を整理して、研修資料に反映させていきます。

5. 支部活動の特徴

- ・「母子健康手帳、母子保健情報等に関する検討会」の委員として、健やか親子21推進本部幹事会の専門部会「母子保健情報部会」の構成員として参加
- ・「NIPT等の出生前検査に関する専門委員会」、「出生前検査認証制度等運営委員会」の委員として、「情報提供ワーキンググループ」の構成員として参加
- ・「産後ケア事業の体制整備に関する調査研究事業」の委員として参加
- ・「母子保健と児童福祉の一体的相談体制の構築に係る事例収集」検討委員会の委員として参加
- ・「統括支援員の育成に関する調査研究」研修動画の講師登壇

6. 委員・支部長

	氏名	所属
○	三橋 静香	横浜市こども青少年局こども福祉保健部こどもの権利擁護課 児童虐待・DV対策担当係長
	星野 典子	栃木県北健康福祉センター地域保健部長補佐（総括）
	石田 淳子	府中市子ども家庭部こども家庭支援課長
	田辺 香苗	川口市保健所疾病対策課 課長補佐兼感染症係長
	堀 優子	北九州市子ども家庭局子育て支援部子育て支援課母子保健係長
	高野 千代	茨城県鉾田市子ども家庭課副参事兼課長補佐
ワグザバー	市川 定子	自治医科大学看護学科看護学部 講師